

2024年度調査事業「民間航空機の今後の市場要求・エアライン業界動向調査」
に係る公募について

2024年5月

公益財団法人航空機国際共同開発促進基金(以下「当財団」という。)は、2024年度調査事業「民間航空機の今後の市場要求・エアライン業界動向調査」の実施者を募集します。応募される方は、以下の要領により応募書類を提出期限までにご提出ください。

1. 目的

世界の航空輸送ならびに航空機産業は、新型コロナウイルス感染症の影響から漸く回復を遂げつつある。一方、エアライン業界では、堅調な旅客需要を背景に、業績が回復しているが、賃金を含めた大幅なコスト上昇、機材受領の遅延、部品不足、計画外エンジン整備からの供給量不足等が、懸念となっている。また、航空機産業は、長引くサプライチェーン問題や品質問題等から、生産が遅延しており、特にボーイング社は、未曾有の危機に直面している。

このような状況下、本邦航空機産業のステップアップのために必要な要件、事業枠組みの分析と検討を行うことを目的とする。

2. 調査仕様

上記の目的に資するため、次の(1)に示す事項について、最新の実態を調査・分析・整理する。その調査方法に関して、具体的に記載し提案すること。

なお、5項に記載のとおり、適時進捗状況等の報告を行い、調査期間後半においてはそのフィードバックを含めて成果報告書を提出すること。

(1) 調査分野

調査・検討には、以下の分野を含めること。

- ① エアライン業界の動向(業績の回復動向と今後の課題)
 - i. 業績推移、財務基盤
 - ii. 旅客事業、貨物事業、ネットワーク戦略、パートナー戦略、M&A動向
 - iii. インド、中東エアラインの拡大戦略
 - iv. 環境対応戦略
- ② OEM各社の現状(財務状況を含む)と今後の動向
 - i. ボーイング社の戦略・動向、品質問題(要因、影響、課題)
 - ii. エアバス社の戦略・動向
 - iii. エンブラエル社の動向
 - iv. サプライチェーン問題(スピリット・エアロシステムズ社買収動向、OEMのアウトソーシング戦略を含む)
- ③ 本邦航空機産業のステップアップのための要件
 - i. RSP(Risk-Sharing-Partner)参画への要件(技術、販売、サポート等)
 - ii. RSPビジネスモデル検討(財務モデリング、国内雇用、参画リスク分析)

- ④ 中国、インド、中東の航空機産業育成動向
- ⑤ 将来航空機開発動向
 - i. 次期単通路機(A320neo 後継機等)
 - ii. 次期ターボプロップ機(TPNG、EVO 等)
 - iii. 派生型開発状況(A321XLR、MAX10、777-9 等)
 - iv. 新たな挑戦(ブレンデット・ウイング機、超音速機等)
- ⑥ 認証基準関連の動向
- ⑦ eVTOL機開発動向
 - i. eVTOL機各社の開発動向、認証進捗状況
 - ii. eVTOL機各社の財務状況
 - iii. 主要認証当局によるeVTOL機関連認証基準の状況
 - iv. 運航計画、ビジネス戦略等

(2) 調査方法

前項各分野の調査方法に関して、具体的に記載し提案すること。なお、5項に記載のとおり、適時進捗状況等の報告を行うこと。

3. 調査期間

契約日から2025年3月7日(金)

4. 予算額

1,200万円(消費税別)

5. 進捗状況等の報告

契約期間中(または契約期間終了後)に適時開催する当財団の航空機産業調査委員会等の場で調査の進捗状況等を書面にまとめて報告を行い、委員による審査・フィードバックを受けること。

6. 提出物件

(1) 成果報告書

調査結果をまとめ、成果報告書を提出すること。

- ・ 提出期限:2025年3月12日(水)
- ・ 提出方法及び部数:
電子データ(注1)を2部提出する。成果報告書の記載事項、電子データの作成方法等は、別途調整する。

(2) 週報

契約期間中、活動で得た調査結果について週次で報告を提出すること。

- ・ 提出時期: 毎週 火曜日まで

- ・ 提出先： 別途指定する当財団宛先
- ・ 提出方法：
電子データ(注2)をメール等で提出する。記載事項等は、別途調整する。

(3) 月報

契約期間中、航空需要、エアライン業界、OEM各社の状況等を、定められたフォーマットを用いて報告する。

- ・ 提出時期： 毎月ボーイング社・エアバス社の出荷・受注発表後
- ・ 提出先： 別途指定する当財団宛先
- ・ 提出方法：
電子データ(注2)をメール等で提出する。記載事項等は、別途調整する。

(注1) Windows10または11に対応したPDF形式で、参考データとしてのWord/Excelファイル形式を含むものとする。

(注2) Windows10または11に対応したWord/Excelファイル形式とする。

7. 応募要領

(1) 応募資格

- ① 政府関係機関またはエアライン等の委託調査を実施した実績を有すること。
- ② 実績が無い場合には本調査を確実に実施できることを具体的に提示できること。

(2) 応募方法

以下の応募書類を一つの封筒に入れ、表面に、『2024年度調査事業「民間航空機の今後の市場要求・エアライン業界動向調査」 応募書類在中』と記載の上、8項に従い、郵送または持参により提出のこと。

〈応募書類〉

- ① 応募申請書(正本1部+写し1部): 〈様式1〉
- ② 提案書(2部): 〈様式2〉
- ③ 提案受理票(1部): 〈様式3〉
- ④ 提案者(企業・団体)に関する概要表(正本1部+写し1部): 〈様式4〉

8. 応募書類の提出期限および提出先等

(1) 提出期限

2024年6月14日(金)16:00(必着)

(2) 提出先

公益財団法人航空機国際共同開発促進基金

〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目6番2号 第2秋山ビル虎ノ門1階

(3) 問合せ

本公募に関する問合せ先は、次のとおり。(担当:水谷、濱本)

電子メール:iadfwebmaster@iadf.or.jp

9. その他

- (1) 応募書類は返却しない。
- (2) 提案書の作成費用は経費に含まない。
- (3) 提案内容確認のためのヒアリングを実施する場合がある。

以上

(様式 1)

受付番号

公益財団法人航空機国際共同開発促進基金 御中

2024年度調査事業
「民間航空機の今後の市場要求・エアライン業界動向調査」

申請者	企業・団体名		
	代表者・役職		印
	所在地	〒	
連絡担当者窓口	担当者氏名		
	所属		
	役職		
	電話番号		
	FAX番号		
	E-Mail		

(様式 2)

受付番号

公益財団法人航空機国際共同開発促進基金 御中

2024年度調査事業
「民間航空機の今後の市場要求・エアライン業界動向調査」

1. 申請者
2. 提案概要
3. 調査に係る詳細
4. 実施体制
5. 実施スケジュール

6. 経費見積 (千円)
(1) 人件費 単価 × 人 × 時間 (または日)
(2) 旅費・交通費
(3) 外注費
(4) 一般管理費
小計
消費税
総額 (千円)
7. その他

【記入要領】

2. 提案概要

- ・当該調査を実施するに当たり、各調査項目についてどの程度の量の情報をどのように集め、どのように整理を行うのか、具体的に説明して下さい。

3. 調査に係る詳細

- ・当該調査を実施するに当たり、調査の手法や手段、調査報告書のイメージ等について、具体的かつ詳細に説明して下さい。
- ・また、仕様書における調査項目をどのように細分し、どのような手順で行うのかを説明して下さい。

4. 実施体制

- ・当該調査を受託したときの実施体制図及び業務実施者の調査に関する実績について示して下さい。共同提案の場合は、まとめて示して下さい。

6. 経費見積

- ・可能な限り内訳を明記して下さい。
- ・人件費については、根拠となる単価、労働時間を明記して下さい。
- ・必要に応じて、別添資料を付して下さい。
- ・記入欄サイズは必要に応じて調整して下さい。

(様式 3)

提 案 受 理 票

受付番号	
------	--

提案者

企業・団体名 _____

代表者役職・氏名 _____ 殿

公益財団法人航空機国際共同開発促進基金
〒105-0001
東京都港区虎ノ門三丁目6番2号
第2秋山ビル1階
電 話 03-3432-8361

2024年度調査事業「民間航空機の今後の市場要求・エアライン業界動向調査」公募の応募書類を受領しました。

本件に関するご連絡等は、この受付番号をご使用下さいますようお願い致します。

(注) この提案受理票は、応募書類を受領したことを証明する書類となりますので、提案者の企業・団体名及び代表者役職・氏名を記入下さい。
本票に当財団で受付番号を記入後、提案者に返送いたします。

(様式 4)

受付番号	
------	--

提案者（企業・団体）に関する概要表

企業・団体名

代表者役職・氏名

印

所在地	〒		
ホームページ URL	http://		
設立年月日		資本金	円
従業員数	人		
主要業務の実績			
主要加盟企業 (団体の場合)			
その他関連会社			
主要株主 (株式会社の場合)	株主名	持株割合 (%)	

直近3年間の財務状況			
	当年度（見通し） 〔自 年月日〕 〔至 年月日〕	前年度 〔自 年月日〕 〔至 年月日〕	前々年度 〔自 年月日〕 〔至 年月日〕
売上高	千円	千円	千円
当期純利益	千円	千円	千円
繰越利益剰余金	千円	千円	千円
期末借入金残高	千円	千円	千円